

環境活動レポート



2011 年 10 月

(運用期間 2010 年 8 月～2011 年 7 月)



株式会社 ヨシノ印刷

目 次

表紙	1
目次	2
環境方針	3
1. 組織の概要	4
2. 対象範囲	4
3. EA21 推進体制	5
4. 環境目標とその実績	6
5. 環境活動計画	8
6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 ..	9
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	12
8. デマンド警報装置の測定結果	12
9. 還元金の設定と結果	13
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	14

株式会社ヨシノ印刷

エコアクション21 環境方針

当社は、地球上に存続する一企業として、事業活動による環境への影響を的確にとらえ、環境への優しさを優先します。

その為に、環境目標を定め達成に向けた改善活動計画の定期的な確認と評価を行ない、環境経営システムの維持、継続的改善に努めます。

また、環境関連法を順守し、地球温暖化防止のため CO₂削減・省エネを推進し、環境方針を全社員に周知するとともに、地域への環境保全活動に積極的に取り組んで参ります。

取組方針

- ① 電力使用量を削減する
- ② ガソリン使用量を削減する
- ③ 水使用量を削減する
- ④ 廃棄物排出量を削減する
- ⑤ グリーン購入を推進する
- ⑥ 化学物質使用量を削減する
- ⑦ 印刷物の生産過程で環境に配慮する
- ⑧ 周辺の清掃活動をする

制定日 2008年7月1日

改定日 2010年8月1日

株式会社ヨシノ印刷

代表取締役

吉川正敏

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社ヨシノ印刷

代表取締役 吉川正敏

(2) 所在地

〒444-0924 愛知県岡崎市八帖北町14番地15

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 常務取締役 峯澤 功

環境事務局担当者 生産課係長 柴田 毅

連絡先 TEL 0564-24-1218

FAX 0564-24-1968

E-mail: info@yoshino-print.co.jp

<http://www.yoshino-print.co.jp>

(4) 事業の内容

●印刷物の企画・編集、印刷、製本

(5) 事業の規模

● 従業員総数26名

● 2011年度売上高2.6億円

● 床面積事務所・工場 1,656 m²

2. 対象範囲

(認証) 株式会社ヨシノ印刷の全組織

(登録範囲) 印刷物の企画・編集、印刷、製本

(レポートの対象期間) 2010年8月～2011年7月

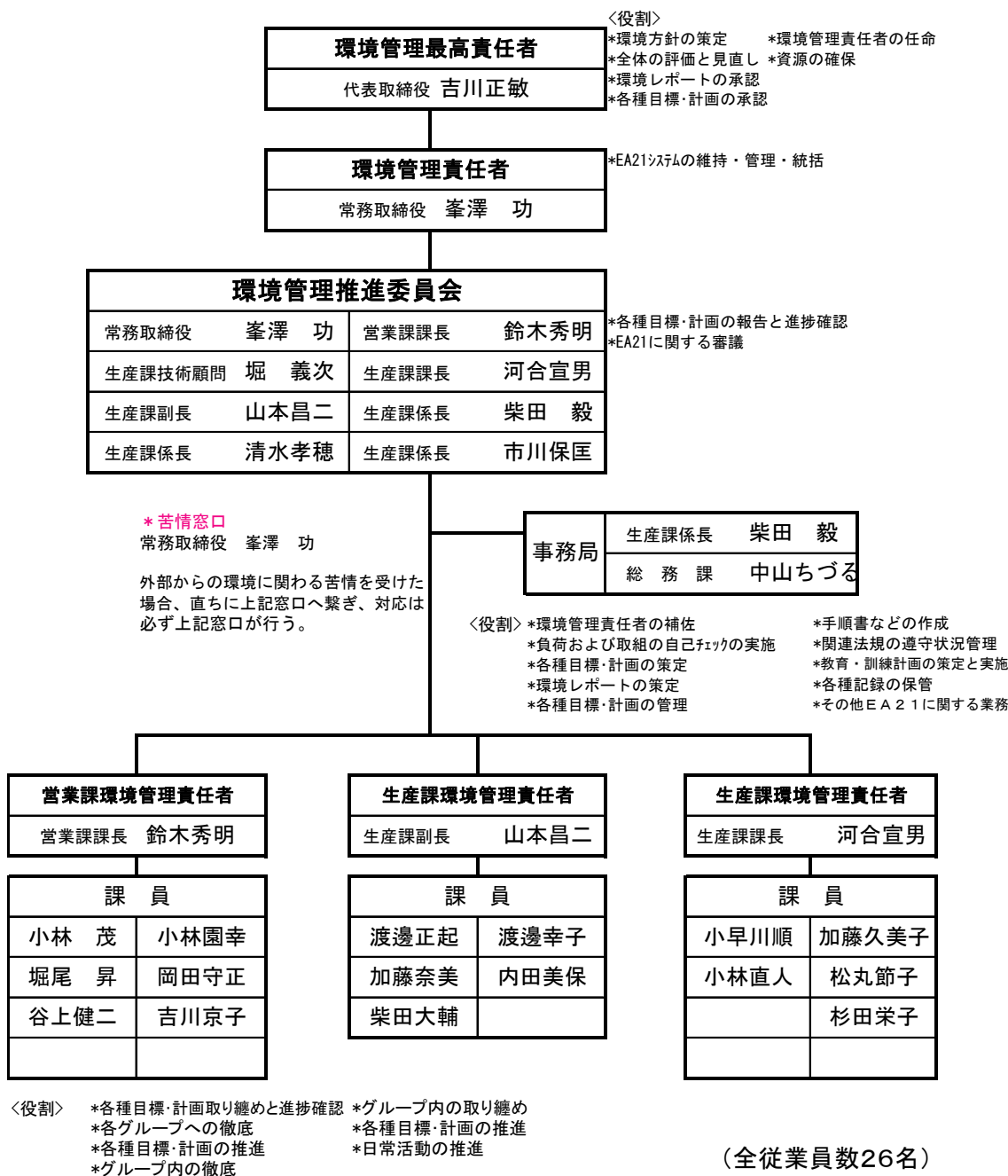
(発行日) 2011年10月

3. EA21推進体制

2008年8月1日
改訂 2009年1月21日
改訂 2009年9月21日
改訂 2010年4月21日
改訂 2011年6月21日

分類番号	YEA5
承認	作成
社長	環境責任者

株式会社ヨシノ印刷 環境活動計画に関わる組織図(および役割)



4. 環境目標とその実績

環境目標一覽表

承認者 作成者
承認者 担当者
承認者 担当者

改訂日 2008年11月4日
作成日 2008年7月1日

環境方針	環境負荷	中期目標達成時期	実施事項			2010年度目標	2011年度目標
			2009年度目標	2008年度目標	2007年度目標		
電力使用量の削減	二酸化炭素の増加	電力の使用量を削減する 2011年7月までに 2008年度比 20%以上削減する (原単位)	電力の使用量を 2008年度比 10%以上削減する (原単位)	(1)冷房等の設定温度を見直し (2)冷房機等のフィルター清掃を年4回実施する (3)使用時以外の場所には消灯の徹底を図る (4)残業時、昼休み時、退社時の節電の徹底を図る (5)パソコン使用時以外のモニター電源OFF (6)工場照明の適正化実施する (7)照明の引きの直し (8)新電力料金表示による節電推進	電力の使用量を 2008年度比 20%以上削減する (原単位) (2010年8月～ 2011年7月)	電力の使用量を 2008年度比 20%以上削減する (原単位) (2010年8月～ 2011年7月)	全部署
ガソリン使用量の削減	二酸化炭素の増加	ガソリンの使用量を削減する 2011年7月までに 2008年度比 15%以上削減する (原単位)	ガソリンの使用量を 2008年度比 5%以上削減する (原単位)	(1)急発進、急ブレーキ防止(エコドライブ)を徹底する (2)タイヤの空気圧等の定期点検を実施する (3)アイドリングストップの励行 (4)余分な荷物を載せない	ガソリンの使用量を 2008年度比 10%以上削減する (原単位) (2009年8月～ 2010年7月)	ガソリンの使用量を 2008年度比 15%以上削減する (原単位) (2010年8月～ 2011年7月)	営業課
廃棄物排出量の削減	廃棄物の増加による埋立地の減少	廃棄物の排出量を削減する 2011年7月までに 2008年度比 95%以上削減する (原単位)	廃棄物の排出量を 2008年度比 80%以上削減する (原単位)	(1)紙使用量の削減を図る (2)一般ゴミの削減を図る (3)産業廃棄物の適正処理を徹底し削減を図る ・リサイクル率の高い産業廃棄物収集業者に移行検討する ・産廃収集業者に金属類と廃プラ等の分別収集の交渉する (4)ヤレ紙の使用を減らす	廃棄物の排出量を 2008年度比 90%以上削減する (原単位) (2009年8月～ 2010年7月)	廃棄物の排出量を 2008年度比 95%以上削減する (原単位) (2010年8月～ 2011年7月)	全部署
水使用量の削減	水質汚濁 水質汚染	水の使用量を削減する 2011年7月までに 2008年度比3%以上削減する (原単位)	水の使用量を 2008年度比 1%以上削減する (原単位)	(1)節水コマの設置により水使用量の削減を図る (2)水道配管からの漏水を定期的に点検する	水の使用量を 2008年度比 2%以上削減する (原単位) (2009年8月～ 2010年7月)	水の使用量を 2008年度比 3%以上削減する (原単位) (2010年8月～ 2011年7月)	全部署
周辺の清掃活動	環境の維持・改善	2011年7月までに 毎週清掃実施する グリーン購入推進	週1回の環境整備日に清掃実施する ・会社周辺の清掃(年毎100m以上) エコマークの商品を優先して購入する 有機溶剤の使用量を下げる	(1)毎週火曜日の環境整備日に清掃実施する ・会社周辺の清掃(年毎100m以上) エコマークの商品を優先して購入する 有機溶剤の使用量を下げる	毎週実施 グリーン購入推進	毎週実施 グリーン購入推進	全部署
グリーン購入を推進 化学物質使用量を削減		グリーン購入推進	グリーン購入推進		グリーン購入推進	有害性の少ない溶剤に変更	全部署
印刷物の生産過程で環境に配慮		大豆油インキの使用を推進	大豆油インキの使用を推進 自動現像機の使用量の減少	(1)大豆油インキの使用 (2)自動現像機の使用量の減少	大豆油インキの使用を推進 自動現像機の使用量の減少	大豆油インキの使用を推進 自動現像機の使用量の減少	生産課

原単位表示……
分析結果……
売上100万円あたり換算
①当社の環境負荷は主に電気の動力が占めているので、電力の使用量の削減の改善実施事項を多くした。
②化学物質を使用しているが、PBTに原単位しているものは無い為、取組はなし。

2011年度環境目標の実績(前期)

分類番号
YEA10R-1



環境負荷 環境方針	環境目標 目標値	実施事項	主担当	計画と実績						
					8月	9月	10月	11月	12月	1月
電力使用量の削減	2008年度比 月別20%削減 (原単位)	冷暖房設定温度 冷房28℃ 暖房20℃ 無駄な照明の消灯 使用時以外のパソコンモニターOFF	山本	①2008年度実績	1,100.09 kwh	890.86 kwh	647.91 kwh	533.70 kwh	597.27 kwh	753.93 kwh
				②2010年度目標	880.07 kwh	712.69 kwh	518.33 kwh	426.96 kwh	477.82 kwh	603.14 kwh
				③2011年度実績	1,249.65 kwh	1,252.03 kwh	680.66 kwh	603.84 kwh	583.18 kwh	665.87 kwh
				③/②比率	142%	176%	131%	141%	122%	110%
				評価	x	x	x	x	x	x
ガソリン使用量の削減	2008年度比 月別15%削減 (原単位)	ゆっくりスタート ゆったりブレーキ ガソリン給油時にタイヤの空気圧点検 ちょっとした用事でもアイドリングストップ	鈴木	①2008年度実績	77.17 L	71.13 L	40.17 L	45.51 L	44.98 L	62.97 L
				②2010年度目標	65.59 L	60.46 L	34.14 L	38.68 L	38.23 L	53.52 L
				③2010年度実績	100.75 L	113.32 L	69.63 L	64.82 L	60.15 L	57.81 L
				③/②比率	154%	187%	204%	168%	157%	108%
				評価	x	x	x	x	x	
水使用量の削減	2008年度比 月別3%削減 (原単位)	節水コマを設置する 漏水点検を毎月実施する	峯澤	①2008年度実績	2.87 m ³		1.83 m ³		2.46 m ³	
				②2010年度目標	2.78 m ³		1.78 m ³		2.39 m ³	
				③2010年度実績	4.20 m ³		3.26 m ³		2.99 m ³	
				③/②比率	151%		184%		125%	
				評価	x		x		x	
産廃物排出量の削減	2008年度比 月別95%削減 (原単位)	分別をしてリサイクルを計る 自分のゴミは自分で持ち帰る	河合	①2008年度実績	0.09 t	0.08 t	0.05 t	0.06 t	0.07 t	0.08 t
				②2010年度目標	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
				③2010年度実績	0.13 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.09 t
				③/②比率	2889%	0%	0%	0%	0%	2250%
				評価	x	○	○	○	○	x
グリーン購入を推進		エコマークの商品を優先して購入する	峯澤	環境管理責任者 コメント 夏場の猛暑の影響でエアコンの稼働が急上昇したことにより電力使用量が増加しました。						
化学物質使用量を削減		有機溶剤の使用量を下げる	河合							
印刷物の生産過程で 環境に配慮		大豆油インキの使用 自動現像機の使用薬品の使用量	河合	社長コメント	エコアクション21を意識して見本になる会社になれるよう努めます。					

原単位表示……売上100万円単位あたりに換算
評価 ③/②比率が100%以下は○(目標達成) 100%~110%は△(目標未達成) 110%以上は×(見直しが必要)

2011年度環境目標の実績(後期)

分類番号
YEA10R-1



環境負荷 環境方針	環境目標 目標値	実施事項	主担当	計画と実績						
					2月	3月	4月	5月	6月	7月
電力使用量の削減	2008年度比 月別20%削減 (原単位)	冷暖房設定温度 冷房28℃ 暖房20℃ 無駄な照明の消灯 使用時以外のパソコンモニターOFF デマンド監視装置により使用量の監視	山本	①2008年度実績	811.07 kwh	526.28 kwh	614.35 kwh	646.16 kwh	497.10 kwh	834.37 kwh
				②2010年度目標	648.86 kwh	421.02 kwh	491.48 kwh	516.93 kwh	397.68 kwh	667.50 kwh
				③2010年度実績	989.37 kwh	569.67 kwh	581.89 kwh	502.36 kwh	518.92 kwh	614.80 kwh
				③/②比率	152%	135%	118%	97%	130%	92%
				評価	x	x	x	○	x	○
ガソリン使用量の削減	2008年度比 月別15%削減 (原単位)	ゆっくりスタート ゆったりブレーキ ガソリン給油時にタイヤの空気圧点検 ちょっとした用事でもアイドリングストップ 余分な荷物を載せない	鈴木	①2008年度実績	37.23 L	31.48 L	43.21 L	72.04 L	47.02 L	55.89 L
				②2010年度目標	31.65 L	26.76 L	36.73 L	61.23 L	39.97 L	47.51 L
				③2010年度実績	63.16 L	40.86 L	46.51 L	45.50 L	49.12 L	49.39 L
				③/②比率	200%	153%	127%	74%	123%	104%
				評価	x	x	x	○	x	△
水使用量の削減	2008年度比 月別3%削減 (原単位)	節水コマを設置する 漏水点検を毎月実施する	峯澤	①2008年度実績	2.61 m ³		2.59 m ³		2.19 m ³	
				②2010年度目標	2.53 m ³		2.51 m ³		2.12 m ³	
				③2010年度実績	3.16 m ³		2.58 m ³		2.43 m ³	
				③/②比率	125%		103%		114%	
				評価	x		△		x	
産廃物排出量の削減	2008年度比 月別95%削減 (原単位)	分別をしてリサイクルを計る 自分のゴミは自分で持ち帰る レンタルウエスの使用	河合	①2008年度実績	0.07 t	0.05 t	0.07 t	0.10 t	0.06 t	0.07 t
				②2010年度目標	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.01 t	0.00 t	0.00 t
				③2010年度実績	0.00 t	0.07 t	0.00 t	0.09 t	0.13 t	0.16 t
				③/②比率	0%	2800%	0%	1800%	4333%	4571%
				評価	○	x	○	x	x	x
グリーン購入を推進		エコマークの商品を優先して購入する	峯澤	環境管理責任者 コメント 5月から工場内レイアウトの見直しにより廃棄物処理量が増加しました。						
化学物質使用量を削減		有機溶剤の使用量を下げる	河合							
印刷物の生産過程で 環境に配慮		大豆油インキの使用 自動現像機の使用薬品の使用量	河合	社長コメント	設定した目標値がクリアされるように全員で知恵を出し行動します。					

原単位表示……売上100万円単位あたりに換算
評価 ③/②比率が100%以下は○(目標達成) 100%~110%は△(目標未達成) 110%以上は×(見直しが必要)

5. 環境活動計画（期間/2010年8月～2011年7月）

○電力使用量の削減

- ・ 冷暖房の設定温度を見直し、冷房は28℃設定、暖房は20℃設定とする。（山本）
- ・ 空調のフィルター清掃を、2月、5月、8月、11月の年に4回実施する。（山本）
- ・ 使用時以外の場所は消灯の徹底をする。（昼食時、残業時等）（山本）
- ・ 使用時以外のパソコンモニターは電源OFFする。（山本）
- ・ 支障の少ない場所の照明の間引きをする。（山本）
- ・ 節電協力チラシを掲示し、節電を推進する。（山本）

○ガソリン使用量の削減

- ・ エコドライブステッカーを車輻に貼り呼びかけをする。（鈴木）
- ・ タイヤの空気圧等の定期点検をこまめに行う。（鈴木）
- ・ アイドリングストップを促す看板を駐車場に設置し推進する。（鈴木）
- ・ 車輻に無駄な荷物を載せないよう点検する。（鈴木）

○水使用量の削減

- ・ 節水コマが設置可能な蛇口すべてに、節水コマを設置する。（峯澤）
- ・ 漏水点検を毎月1回点検する。（峯澤）

○廃棄物排出量の削減

- ・ コピー用紙の両面使用を推進し、コピー用紙の使用量を削減する。（河合）
- ・ 一般廃棄物を削減するため会社へ持ち込んだ私用のゴミは、各自で持ち帰るようにする。（河合）
- ・ ゴミの分別を推進し、ゴミのリサイクル化を計る。（河合）
- ・ 産業廃棄物収集業者の変更を検討し、これを実施する。（河合）
- ・ ヤレ紙の使用を縮小する。（河合）
- ・ レンタルウエスの使用（河合）

○周辺の清掃活動

- ・ 毎週火曜日に会社周辺の清掃活動を実施し、環境美化を推進する。（峯澤）

○グリーン購入を推進

- ・ エコマークの商品を優先して購入する。（峯澤）

○化学物質使用量を削減

- ・ 有機溶剤の使用量を下げる。（河合）

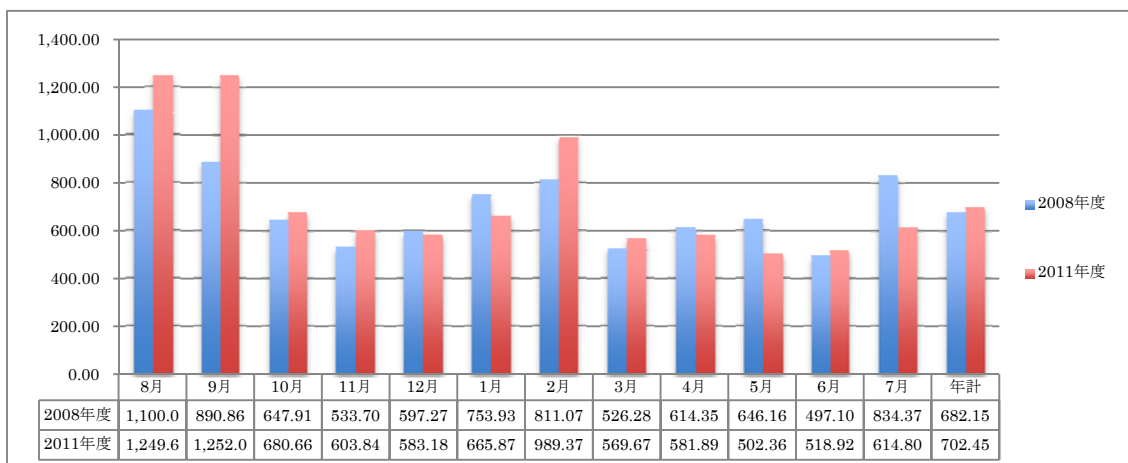
○印刷物の生産過程で環境に配慮

- ・ 大豆油インキの使用（河合）
- ・ 自動現像機の使用薬品の使用量（河合）

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 2008年度同月と今年度同月の環境負荷の状況

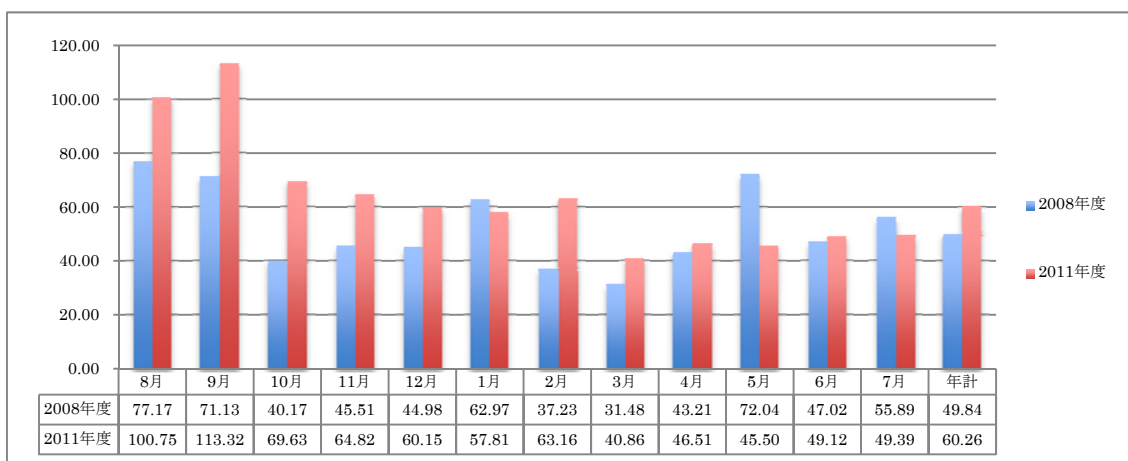
(1) 電力使用量2008年度比較(原単位)

原単位表示…売上100万円あたりに換算



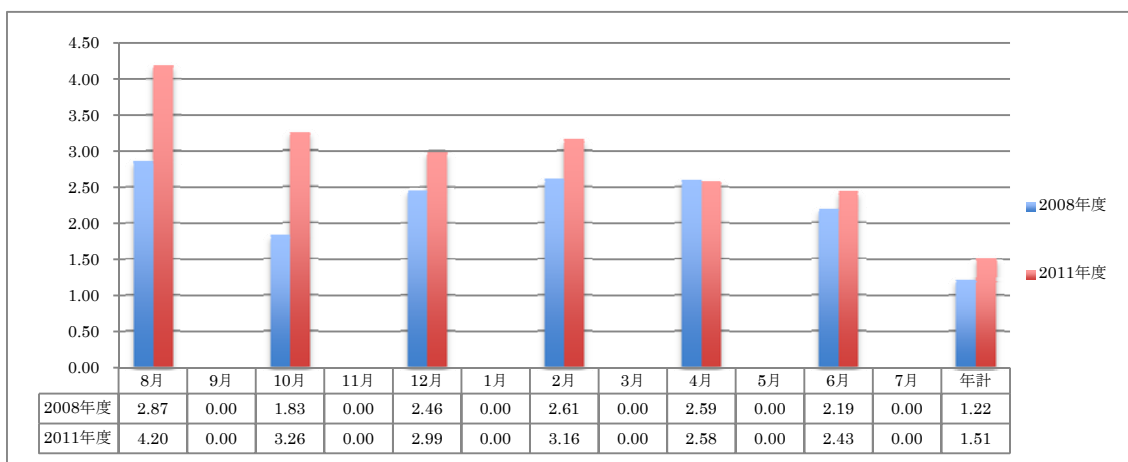
(2) ガソリン使用量2008年度比較(原単位)

原単位表示…売上100万円あたりに換算



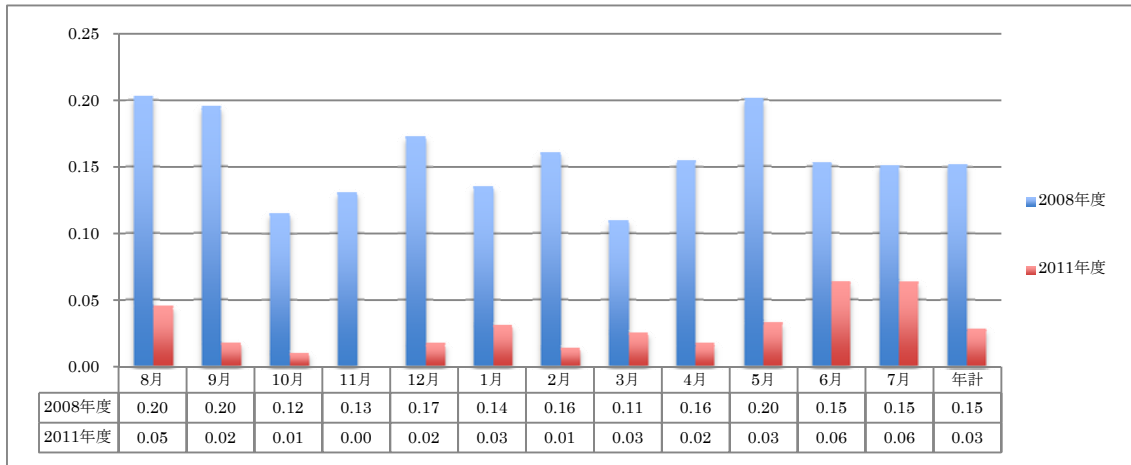
(3) 水使用量 2008 年度比較(原単位)

原単位表示…売上 100 万円あたりに換算



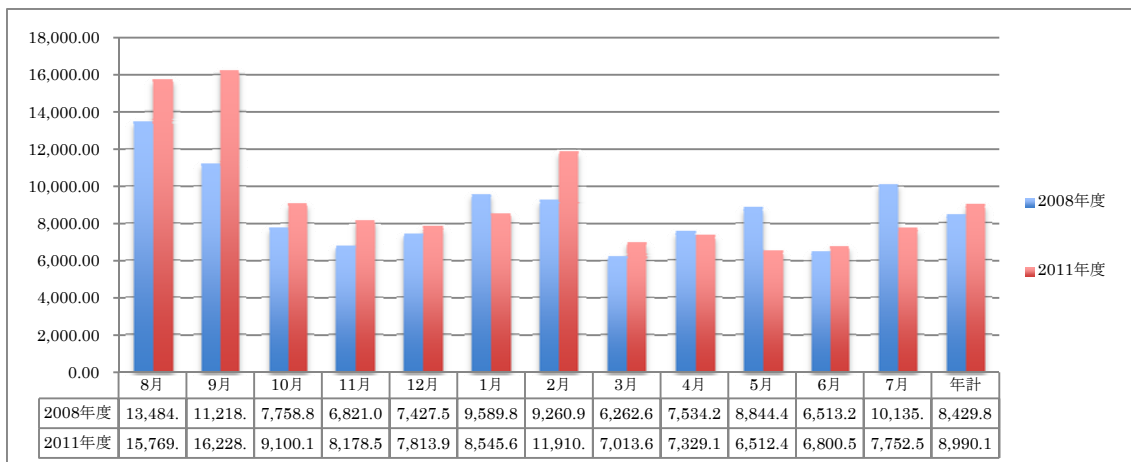
(4) 廃棄物排出量 2008 年度比較 (原単位)

原単位表示…売上 100 万円あたりに換算



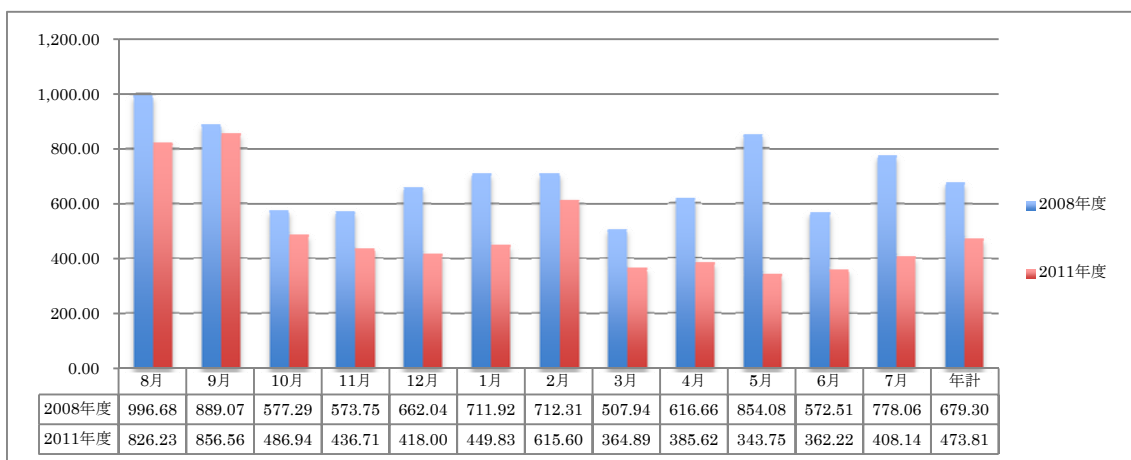
(5) 総エネルギー使用量 (MJ/百万円) 2008 年度比較

原単位表示…売上 100 万円あたりに換算



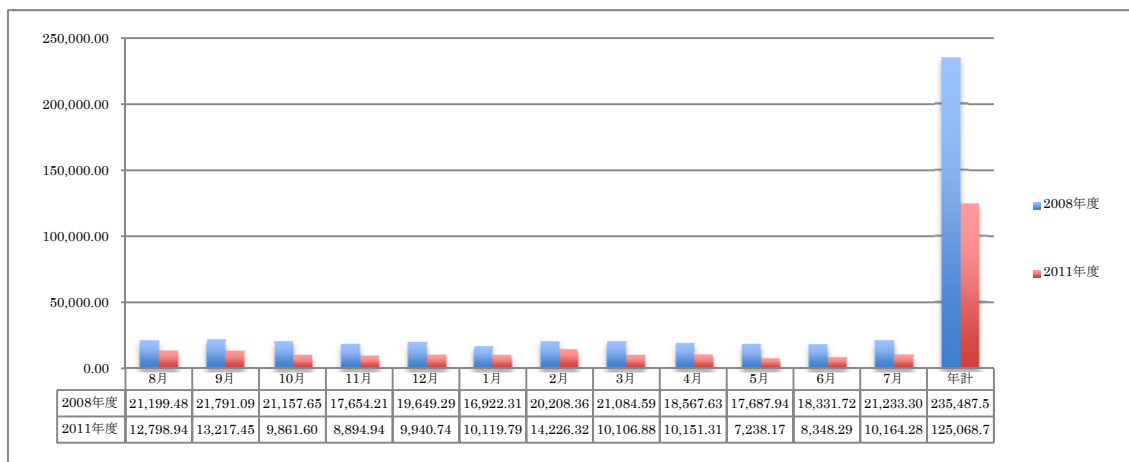
(6) 二酸化炭素総排出量 (kg-CO2/百万円) 2008 年度比較

原単位表示…売上 100 万円あたりに換算



(6-2) 二酸化炭素総排出量(kg-CO2)2008年度比較

原単位換算なし



中部電力の平成21年度の実排出係数(0.474kgCO2/kwh)

2011年度取組評価

(1) 電力使用量

気候条件の変動により、エアコンの稼働日数が年間を通して多くなったため、年計で約3%の増加になった。

(2) ガソリン使用量

売上げの伸び悩みで、受注の拡大を計るため、新規開拓の距離が延び、使用量の増加につながった。

(3) 水使用量

気候条件の変動により、エアコンを入れる日数が年間を通して増加。それに伴って加湿量が増えたため、使用水量の増加となった。

(4) 廃棄物排出量

特にプラスチック類の分別により、廃棄物の回収回数が大幅に減少したため、排出量の削減ができています。目標の95%に達していないが、80%の削減に成功している。

(5) 総エネルギー使用量

電気、ガソリン、水の使用量が増加したため、2008年度より6%上昇してしまった。2010年度の12%より削減は出来ている。

(6) 二酸化炭素総排出量

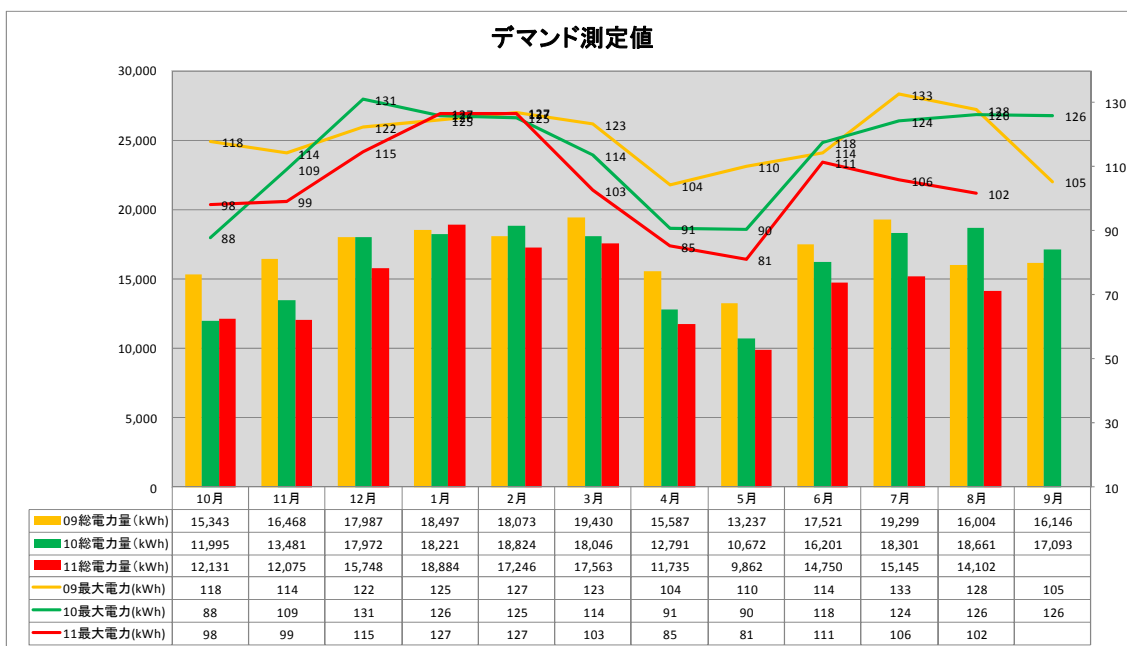
目標の設定はしていませんが、原単位換算で30%の二酸化炭素を削減することができ、尚、原単位換算なしでは47%の削減ができた。いずれも2008年度より削減出来ている。今後もゴミの分別によるリサイクル化を推進して行く。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規制等の遵守状況（廃棄物処理法・家電リサイクル法・自動車リサイクル法・フロン回収破壊法・騒音規制法・振動規制法・県条例）を確認した結果、違反はありません。また、過去3年間関係各署や近隣の方々等からの指摘、苦情、訴訟についてもありませんでした。

8. デマンド警報装置の測定結果

デマンド警報装置を設置しピーク時の最大電力を減少させ、電力使用料金の削減を図る。昨年に引き続きデマンド警報装置を130kwhに設定し、ピーク時に警報が鳴る様にした、ピーク時を昨年同様127kwhに抑える事が出来た。更に設定を下げられる工夫をし、電力削減に取り組む。



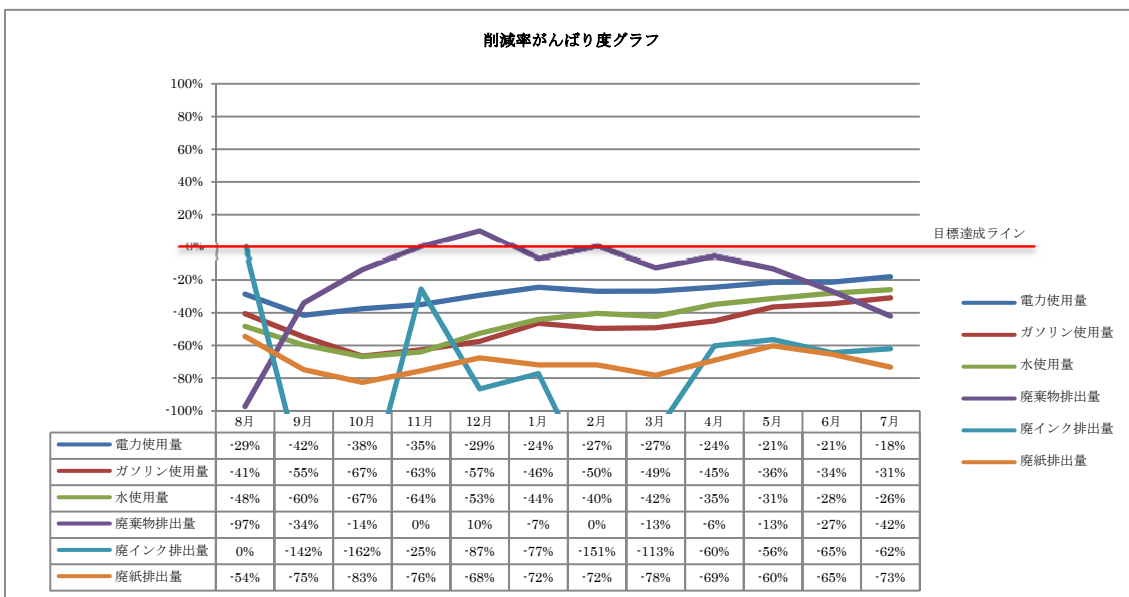
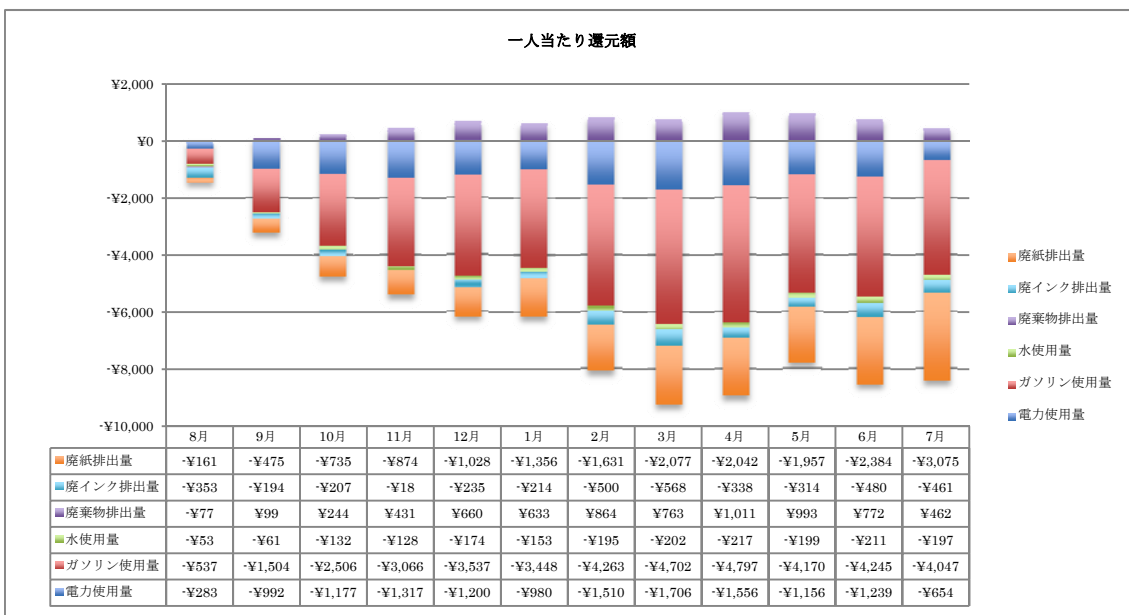
9. 還元金の設定と結果

個々の従業員の協力を促す為、エコアクション21によって節約された料金の一部を原単位で換算し目標がすべて達成できれば、従業員1人あたり10,000円の還元ができるように還元表を作成した。がんばり度グラフを作成し各項目別でどの項目ががんばっているかがわかるようにした。

売上げの減少に伴い良い結果が出せませんでした。

グラフはマイナスで今年度の還元は0円でした。

来年度はマイナス原因を追及しプラスになるよう努力し、目標を達成する。



10. 代表者による全体評価と見直しの結果

分類番号 YEA12R

代表者による全体評価と見直しの結果

2011年 9月 22日

社長は、年1回(臨時)に環境マネジメントシステムを見直すこと。
見直しに必要な下記の資料・情報を確実に収集し、環境管理推進委員会で
環境管理責任者が社長に報告する。
この見直しは、文書化し、保管する。

承認	作成
社長	環・責任者
	

表1

検討項目	評価資料及び情報	評価
環境に関する内部・外部 の変化している状況	社内の製品、事業・業務、組織の変化 顧客の環境に関する動向 業界・同業他社の環境に関する動向 官公庁・社会等の環境に関する動向 周囲の変化、その他	業界も環境関連サービスの 強化と印刷物の環境に優し い効率的な手法をどう提案 するか取り組んでいます。
継続的改善 手順、計画 チェックリストの改善	是正・予防処置報告書 手順書の改訂状況 環境活動計画の進捗状況・コメント内容 環境管理推進委員会の議事録 その他	身近なものに目を向け、更に 改善をしながら取り組んでい ます。
目標の達成度	目標と実績、測定データ	特に電気の最大電力は、 データを見ることで予測が出 来るようになって来ました。
法・その他の要求事項の 遵守状況	法・その他の要求事項の測定結果データ	騒音、振動は規定値内に収 まっている
利害関係者の関心事	環境情報連絡対応書 その他	苦情はありません
経営的見地	社長・経営層の見解	特にありません

2011年 9月 22日

社長は、表1 の報告結果を考慮し、方針、目的及び環境マネジメントシステム、
その他の変更の必要性を明確にする。

作成
社長


見直し結果

社長言及項目	変更	理由内容
方針の変更	変更の 有 (無)	現状の方針を確立していく
目標の変更	変更の 有 (無)	現状の目標を確立していく
環境活動計画	変更の 有 (無)	現状の環境活動計画実現に進んでいく
環境マネジメントシステムの変更	変更の 有 (無)	このシステムを向上していく
社長のコメント	全社員の意識が向上するように努める。	
見直し結果、変更が必要なとき	是正・予防処置報告書の発行	

環境管理責任者は変更が必要なときは、是正・予防処置報告書の発行の確認をする。

環境管理責任者確認 2011年 9月 26日